

平成28年(2016) 6月9日～13日

平成28年度(2016)

第1回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成28年度（2016）第1回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

6月9日（木） 10:00 開会			6月10日（金） 10:00 開会			6月13日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	米山 広志	3	1	川上 幸博	11	1	萬代 輝正	18
2	飯塚 俊之	4	2	岸 道三	12	2	小村 吉一	19 ～ 20
3	渡部 勝	5	3	珍部 全吾	13	3	保科 孝充	21
4	福島 孝雄	6	4	原 正雄	14	4	寺本 淳一	22
5	湯浅 啓史	7	5	井原 優	15	5	松村 豪人	23
6	大谷 良治	8	6	伊藤 繁満	16	6	大場 利信	24 ～ 25
7	福代 秀洋	9	7	神門 至	17	7	板倉 一郎	26
8	勝部 順子	10						

質問者	27 米 山 広 志		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) コミュニティセンターの職員数について			
① 基本的な考え方が変更になった理由 ② 職員数について、世帯数だけに基づいて配置された理由 ③ アシスタント制度の廃止理由		市長	
(2) 幼稚園一時預かり事業について			
① 夏季預かり保育試行内容 ア 実施園と実施日 イ 冷房の整備・設置計画 ウ 熱中症対策 エ 1園につき何人まで受け入れるか		市長	
(3) 下水道施設の改築更新について（陶管）			
① 陶管使用の総延長 ② 陶管の耐用年数 ③ 管更生工事の1km当たりの工事費 ④ 現在までの調査状況		市長	

質問者	13	飯塚俊之	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) (仮称) 出雲新体育館の建設及び体育館再配置について		市長	
① 合併後これまでの体育館の整備に関する議論 (スポーツ振興ビジョン、公共施設のあり方指針など) ② スポーツ振興審議会の答申 ③ 今後の取り組み方針			

質問者	6 渡部 勝	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容			
(1) 出雲市管内の落石危険箇所対策について		都市建設 部長	
<p>① 大型連休中、邑南町の県道で斜面から落下した直径約1メートルの岩が走行中の軽自動車に激突し、女子大生が死亡する痛ましい事故が発生しました。心よりご冥福をお祈りいたします。</p> <p>さてこの現場は落石防止対策がすでにとられていた区間内でしたが、石があった付近は相対的に危険が低いとの理由で、周囲にはあった落石防止ネットが無く、死角をつかれた形になりました。中山間地域の道路ではいつ同様の事故が起きても不思議ではありません。これから梅雨の時期となりより一層危険がまして来ます。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>ア 出雲市管内の落石危険箇所の調査方法及び現場の状況</p> <p>イ 対策済みの数および未対策箇所の数</p> <p>ウ 出雲市管内でこれまでに起きた落石による事故の内容とその数</p> <p>エ 現在まで行ってきた対策の方法と今後の対策方針は</p>			
(2) 出雲市の人口減少対策について		総合政策 部長	
<p>① 国は少子高齢化とそれがもたらす人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、2014年11月「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。同年12月には2060年に1億人の人口維持をめざした「長期ビジョン」とそのための取り組みの方向性をまとめた「総合戦略」を閣議決定し、国をあげて「まち・ひと・しごと創生」に取り組もうとしています。</p> <p>本市においても平成27年10月出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち出雲」をめざして策定しました。</p> <p>そこで次の点を伺います。</p> <p>ア 2010年度と2015年度の各地域の人口の推移</p> <p>イ 2015年度の合計特殊出生率の数値</p> <p>ウ 「市内高校3年生を対象にした定住・結婚意識調査」「結婚・子育てに関する市民意識調査」「出雲市内の事業活動に関する実態調査」「出雲市へのUIターンに関するアンケート調査」を実施されていますがこれを踏まえてどのような方針、あるいは対策をたてられたのか</p> <p>エ 結婚支援の現在の取り組み及び効果、問題点。今後の計画</p>			

質問者	7 福 島 孝 雄	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 出雲市における災害時対策について		
<ul style="list-style-type: none"> ① 今回の熊本地震を踏まえ、現在の危機管理体制の改善、及び教訓となるものは何かを伺う。 ② 出雲市の「国土強靱化地域計画」の策定状況を伺う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 策定の考え、状況を伺う。 イ 地域計画を進める上でのメリットを伺う。 ③ 大規模災害時の仮設住宅建設予定地について <ul style="list-style-type: none"> ア 建設候補地の状況を伺う。 イ 現在の公営住宅の空き家への一時入居可能な件数を伺う。 ウ 応急住宅に要する資材等の調達に関する建設業者との対応を伺う。 		市長
(2) 出雲市の中山間地域農業対策について		
<ul style="list-style-type: none"> ① 中山間地域等直接支払交付金について <ul style="list-style-type: none"> ア 特定農山村法等に指定された地域に支払われる直接支払交付金の第1期～第4期の動向を伺う。 イ 制度の利用が減っている要因をどう見ているか伺う。 ウ 全額返還となる場合の要件を伺う。 エ 今後の農地維持・規制緩和について伺う。 		農林水産 部長

質問者	3 湯 浅 啓 史		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 空き家調査の結果と今後の対策について			
<p>① 平成27年度に実施された「空き家の実態調査による台帳の整備」事業の結果はどのような状況か</p> <p>ア 調査した空き家の総数</p> <p>イ 特定空き家と認定されるような危険な空き家の数</p> <p>② 今後の対策はどのように立案するのか</p> <p>ア H27年度事業の成果品をどのように活用するのか</p> <p>イ 出雲市空き家対策協議会の位置づけと検討事項は何か</p>		市長	
(2) 公共施設に設置している機器のエコ対策と環境配慮について			
<p>① 省エネルギーを推進する取り組みや、環境に配慮する取り組みは進んでいるのか</p> <p>ア 照明器具のLED化</p> <p>イ 温浴施設の水循環機器や、その他施設の大規模な冷暖房機器等の省エネルギー対策</p> <p>ウ 水銀に関する国際条約の影響を受ける機器はどの程度存在するのか</p>		市長	

質問者	1	大 谷 良 治	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 消防団員確保・事業所制度と地域で支える仕組みづくり		消防長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 消防団協力事業所表示制度について <ul style="list-style-type: none"> ア 対象事業所の認定基準と事業所数 イ 現況と今後の課題について ② 団員や家族を地域全体で支える仕組みづくりについて <ul style="list-style-type: none"> ア 消防団応援キャンペーンへの市の関わり イ 登録の方法と申し込み方法、現時点での登録者 			

質問者	23 福代秀洋		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 自治会応援条例			
<p>① 自治会等応援条例による取り組みと成果</p> <p>ア 自治会等応援条例が制定されて1年余りが経つが、この間どのような取り組みが行われたのか。また、どのような成果があったのか。</p> <p>② 今後の目標と課題、具体的な取り組み</p> <p>ア 条例の趣旨を実現していくために、実現すべき目標とそれに対する課題をどのように設定しているのか。また今年度の具体的な取り組みを伺う。</p>		総合政策 部長	

質問者	26 勝部 順子	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 教育現場での熱中症予防対策について		記 事
<p>① 近年、クラブ活動中の熱中症事故が学校側の過失となるケースが相次いでいます。 夏季の高温日数の増加に伴い、6万人近くの方が熱中症の症状になり、4万人前後の人が救急搬送されています。政府は、7月を「熱中症予防強化月間」に定めて注意喚起を呼びかけています。これからの猛暑に備える準備が必要です。特に、学校現場での対応が重要です。</p> <p>ア クラブ活動中の熱中症予防と対策はどのようにされているのでしょうか。</p> <p>イ 最近増加している高温多湿な校舎内での室内で起こる「かくれ脱水」にも注意が必要ですが、これへの対応はどうなっていますか。</p> <p>ウ 全国では、暑さ対策として、小中学校の体育館に冷水機を設置されて対応されている学校も増えています。出雲市内の幼小中学校の状況を伺います。</p>		教育長
(2) 幼小中学校のトイレの洋式化の現状と推進について		
<p>① 生活環境の向上により、住宅や公共施設、商業施設など殆どが洋式トイレに改善されてきました。とても快適な生活スタイルになってまいりました。しかしながら、学校現場ではまだ和式トイレの所もあるのが現状です。 学校は、子どもたちが一日の大半を過ごす場であり、また、災害時には地域の方々の避難場所に利用されることにもなります。</p> <p>ア 現在の設置状況(幼・小・中)</p> <p>イ 設置計画について</p>		教育長

質問者	22 川上幸博	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者 記事
(1) 介護報酬改定による影響は		
<p>① 介護報酬の改定が平成27年4月に行われました。</p> <p>ア 改定から1年を経過し出雲市の介護施設への影響と職員の処遇改善状況について伺います。</p> <p>イ 島根県において「介護保険制度改正に係る影響等調査」が行われましたが、その内容と、それを今後どのように反映されるのか伺います。</p> <p>ウ 国、県、市の役割の中で、出雲市として人材確保と定着をどのように取り組まれるのか所見を伺います。</p> <p>エ 平成29年度より訪問介護・通所介護事業が出雲市へ移行されるが、移行に当たり新たな担い手づくりも必要と答弁されたが、その方針は変わらないか伺います。</p>		健康福祉 部長
(2) 安全・安心のまちづくり（防災・防犯・消費生活）について		
<p>① 自然災害発生時における行政職員と住民の役割と危機管理指針等から見た課題について伺います。</p> <p>ア 災害発生時、避難誘導、避難所の確保・医療体制・支援、復興への生活支援など</p> <p>② 地域での自然災害への備えは</p> <p>③ 地域防災・防犯の考え方</p> <p>ア 地域社会と住民力</p> <p>イ 防犯カメラの設置状況と今後の取り組み</p> <p>④ 近年、消費トラブルが増加しているなかで、安全安心のまちづくりに消費生活の安心向上も必要と考えるが所感を</p>		防災安全 担当部長

質問者	2 岸 道 三		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 臨時・非常勤職員等の処遇改善について		市長	
① 現在の臨時・非常勤職員の配置状況 ② 総務省通知に則った臨時・非常勤職員等の適切な任用がされているか ア 時間外勤務、通勤費用について イ 保険の適切な対応 ウ 任期に一定の期間を置くこと エ 臨時職員の通算60ヶ月の上限について ③ 臨時・非常勤職員の将来的な在り方			
(2) 行財政改革に係る事務事業の見直しについて		市長	
① 事務事業の検証における対象事業 ② 評価・検証の方法 ③ 事務事業見直しのスケジュール			

質問者	32 珍部全吾	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 長岡市政七年間の成果について		
<p>① 長岡カラーの強い施策はなんであったか。市長の思いを問う。</p> <p>(以下個別施策について)</p> <p>ア 自治基本条例 市長就任当時は条例制定に積極的だったが、現在の考えはどうか。</p> <p>イ 出雲市を対外的にどうアピールしておられるか。外部から当市への人を呼び込む施策は。</p> <p>ウ 予防介護・予防医療についての市の政策は。</p> <p>エ 過疎・中山間地など人口減少地域に対しての手立てはどうか。</p> <p>オ 出雲体育館の今後の予定はどうか</p>		市長

質問者	8 原 正 雄	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 市道の交差点改良について		
<ul style="list-style-type: none"> ① 各地区土木委員会に対し3年毎に改修及び修繕箇所の要望の見直しがあると聞いています。その根拠は。また、交差点改良の要望はどの程度か。 ② 交差点改良には物件（主に建物）移転補償及び用地買収が伴いますが毎年、何件、どの様な事業で取り組まれているか。 ③ 補助事業として交付金制度の市町村道事業があると聞いています。交差点改良事業で取り組まれた事例を公表されたい。 ④ 今後の取り組み市政について伺いたい。 		都市建設 部長
(2) 旧庁舎（平田・大社・佐田・多伎・湖陵・斐川）の現状を伺う		
<ul style="list-style-type: none"> ① 議場、市長室、町長室及び議長室はどの様になっているか。 ② 使用されていない空き室、又は空き棟は。 ③ 資料保管庫又は倉庫として使用されている所は。 ④ 住民の方々に利用して頂いている所は。 ⑤ 避難所として利用は可能か。耐震構造に適合するのか。 ⑥ 今後の見通し。 		財政部長

質問者	10 井原 優		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 待機児童の解消と保育士の処遇改善について		市長	
<p>① 「保育園落ちたのは私だ」、……希望しても認可保育所に入れない子ども、待機児童の問題が大きな社会問題となっています。いま、両親が働きながら子育てをする家庭が増え、保育の問題は社会的関心を集めています。待機児童の解消、保育士の改善について伺う。</p> <p>ア 認可保育所の「待機児童」の状況及び、認可保育所への入所要件を満たしながらも入所できていない「入所未決定者」の数を示されたい。</p> <p>イ この「入所未決定者」の解消を今後どのようにしようとしているか、伺う。</p> <p>ウ 今後は、保育所入所希望者の推移はどのようになると、想定されているか、伺う。</p> <p>エ 保育士不足の背景には、保育士の専門性に見合わない処遇の低さや過酷・過密な労働環境がある保育現場の実態を市としてどのように認識しているか、所見を伺う。また、国に対して、抜本的な改善を求めるべきと考えるが、伺う。</p>			
(2) 温浴施設の利用料金について		市長	
<p>① 市は、昨年度、公共施設の利用料の見直し（値上げ）を実施しました。ところが日帰温浴施設は、利用者の大幅な減少が発生し、値上げ前より減収となりました。</p> <p>ア 温浴施設の値上げ前、値上げ後の利用者の数を伺う。</p> <p>イ 温浴施設の利用者が減った要因は何と考えられますか、伺う。</p> <p>ウ すみやかに、元の料金に戻すべきと考えますが、伺う。</p>			
(3) 住宅リフォーム助成制度について		市長	
<p>① 市民が住宅のリフォーム、修繕や改善を行い、地元の建設業者に発注するという条件で、市が費用の一部を補助する制度について伺う。</p> <p>ア 何故、一般世帯枠を廃止したのか、伺う。</p> <p>イ 一般世帯枠を復活すべきと考えるが、伺う。</p>			

質問者	1 1 伊 藤 繁 満		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容				
<p>(1) F D A 出雲＝名古屋（小牧）線・増便後の展開について伺います。</p> <p>① 10年半ぶりに再開された名古屋便の搭乗状況と欠航状況の現状について伺う。（観光・ビジネス・その他に分類）</p> <p>② 中京圏900万人の観光戦略・集客方法を伺う。 ア 豊川市への視察状況ではPRが不足していたが全般にF D A路線開設を更に浸透させる必要があるが伺う。</p> <p>③ 新たな路線開設の見通しについて伺う。 ア 新幹線の延伸による金沢市周辺との周遊観光として石川県小松空港、青森空港等について。</p> <p>④ 将来のあり方として、出雲縁結び空港と米子鬼太郎空港との役割り分担はあるのか、その見通しを伺う。</p>			市長	
<p>(2) 新工業団地造成計画と産学官連携の推進について伺います。</p>				
<p>① 工業団地の現状について伺う。 ア 市内工業団地分譲率は93.5%と殆ど売れている状況にあるが個々の団地の現状を具体的に伺う。</p> <p>② 中海、穴道湖、大山圏域における中心的な工業集積地として更なる発展をする為には、市内企業各社との産学官連携は円滑に進める必要があるが、現状と今後の展開について伺う。</p> <p>③ 農業、商工業等の発展なくして圏域の活力は生まれませんが、ものづくり産業の集積地として、斐川IC周辺のアクセス良好な場所で新たな工業団地、産学官連携として情報技術系大学の用地を造成し、企業のニーズに応える必要があると考えるが伺う。</p>			市長	

質問者	4 神 門 至		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 出雲市における保育所の入所状況・待機児童の現状等について		市長	
<p>① 過去3ヵ年の保育所数および保育士数について</p> <p>ア 平成26年6月1日現在</p> <p>イ 平成27年6月1日現在</p> <p>ウ 平成28年6月1日現在</p> <p>② 過去3ヵ年の入所状況（定員数、申込者数、入所者数、予約内定者）について</p> <p>ア 平成26年6月1日現在</p> <p>イ 平成27年6月1日現在</p> <p>ウ 平成28年6月1日現在</p> <p>③ 過去3ヵ年の待機児童数について</p> <p>ア 平成26年6月1日現在</p> <p>イ 平成27年6月1日現在</p> <p>ウ 平成28年6月1日現在</p> <p>④ 待機児童の実態（要因等）と対策について</p> <p>ア 待機児童の要因等は</p> <p>イ 市の具体的な対策は</p> <p> a 国・県からの支援は</p> <p> b 保育所への運営費等を含めた支援策は</p> <p> c 保育士への賃金等を含めた処遇改善策は</p> <p> d その他の対策</p>			
(2) 出雲市における空き家の実態と対策について		市長	
<p>① 現在の空き家の実態について</p> <p>ア 市全体の状況</p> <p>イ 各地域別の状況</p> <p>② これまでの空き家対策の検討状況について</p> <p>※各担当課・各協議会等での検討等</p> <p>③ 今後の市の考え方について</p> <p>※火災予防、環境保全、防犯、防災、空き家の活用等</p>			

質問者	19 萬代輝正		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 改革の進む温浴保養施設の現状と今後の方向性		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年度の温浴保養施設の指定管理料と利用者数、受益者負担率 ② 年間会員券を発行していた施設の会員券廃止後の利用者数推移 ③ 平成28年度4月～5月の速報値(上記の会員券廃止の施設) ④ 料金改定後の利用者数の影響についての把握 ⑤ 温浴保養施設の今後の方向性 ⑥ 料金設定、年間会員券制度や特典付き入浴券、優遇チケット等の考え方 			
(2) 新体育館整備へ向けた考え方、並びに体育施設の維持管理について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 3施設(出雲、平田、斐川第2)の平成25～27年度の利用状況 ※年間利用者数、利用団体数、主な利用者種別、維持管理費について ② 新体育館の規模や可能競技種目、維持管理手法、運営運用方式の考え方 ③ 新体育館建設予定スケジュールの考え方 ④ 小中学校の体育館の統廃合後の施設利用の考え方 ⑤ 受益者負担率50%の考え方は、今後どうするのか ⑥ 出雲市スポーツ振興審議会の答申についての所感 			

質問者	15 小村吉一	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者 記事
(1) 島根原発にかかわる諸問題について問う		
<p>① 過日、中電は島根原発1号機の廃止措置計画、及び2号機特定重大事故等対処施設等の設置計画を策定し、本市には報告を行いました。また、同じ時期、熊本地方を中心に史上まれな大地震が襲い、大きな被害をもたらすとともに、住民の安全安心を確保する上でさまざまな問題が生まれました。そのことを踏まえながら伺う。</p> <p>ア 島根原発廃止措置計画とかかわって</p> <p>a 市は、原発立地なみの「安全協定」の締結を求めているが、いまだに実現していない。今後の見通しとその障害となっているものは何か伺う。</p> <p>b 中電は、1号機の廃止措置計画及び2号機の特定重大事故等の設置計画の説明会を他地域では実施しているが、本市では実施されないのか伺う。</p> <p>c 計画では、所内に貯蔵されている使用済み核燃料722本を2029年までに六ヶ所村の再処理工場に譲り渡すとしているが、再処理工場の稼働の見通しが立っていない中、あまりにも人まかせの計画であると言えないか伺う。</p> <p>イ 熊本地震とかかわって</p> <p>a 原発事故は地震などとの複合災害が想定される。熊本地震で、地表に断層があらわれるなどとして、鉄道や高速道路、幹線道路がストップした。避難計画の中に、このような事態が考慮されているのか伺う。</p> <p>b 熊本地震では、余震への不安から屋外で避難せざるを得ない状況が続いた。原発事故の時は、避難指示の前段階で「屋内退避」が発令されることになっている。この事態をどのように考えるのか伺う。</p> <p>c 避難計画は、策定は自治体の責任である。17万市民の安心安全を確保するものになっているのか、さまざまな交通手段の用意、居住地域ごとに割り振られている避難場所やスクリーニング実施場所への誘導など住民に周知徹底すべき事項は多い。現状ではどこまで策定されているのか伺う。</p> <p>d 4つの大陸プレートが複雑に交差する上にある日本列島には熊本地震で見られたように、いまだ知られていない活断層が存在する。島根半島という激しい地殻変動で成り立った地にある島根原発の安全性についてどう考えるのか伺う。</p>		市長

<p>ウ 原発を廃止し、再生エネルギーへ</p> <p>a 福島原発事故後、再生可能エネルギーによる電力は急速に普及した。全国でのそれによる発電は526万kw、およそ原子力発電5基分と言われている。本市での再生可能エネルギーによる発電量はおよそいくらぐらいか。それは一般家庭の何戸分になるか伺う。</p> <p>b 人類は、いまだ「核のゴミ」を制御する知見を所有していない。原発を廃止し、再生可能エネルギーへの転換は後世のための私たちの使命だと考えるが、市長の見解を伺う。</p>		
<p>(2) 再び学力調査（学力テスト）について問う</p>		
<p>① 市は今年度より学力調査（学力テスト）を行った。国の学力調査、県の学力調査を含め、その実施の状況を伺う。また、今後も同じような形で実施するのか伺う。</p> <p>② 市による学力テストを実施することとした理由は何か。また、学力テストの業者を決めた経過と理由を伺う。</p> <p>③ 学力向上推進リーダー（15名）が置かれているが、その職務内容とそれによって得られたものは何かを伺う。</p> <p>④ 繰り返される通年悉皆学力テストは教職員や学校の自主的、創造的な教育活動を萎えさせる（学校の塾化が進む）と考えるがどうか。</p> <p>⑤ 市が学校教育で求める“出雲の子ども像”は何か。また、学力テストにより平均点の向上を目指す取り組みとの関係を伺う。</p>	<p>教育長</p>	

質問者	12 保科孝充		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 中海・宍道湖・大山圏域市長会の役割を問う。		市長	
<p>① 圏域市長会は平成24年4月に結成されて4年経過した。米子市・境港市・松江市・出雲市・安来市は歴史、文化、経済などいずれにおいても密接な関係にあり運命共同体のようなものだ。</p> <p>ア 会長として、この圏域をどのようにまとめられるのか所信を伺う。</p> <p>イ 一方で4月22日には島根県、鳥取県と民間団体など16団体で「山陰インバウンド機構」が設立された。2つの構成団体に違いはあるが、目指すところは同じと思う。整合性をどのように考えているか。</p> <p>ウ 圏域の最重要テーマとして、道路・高速鉄道の整備について取り組む必要があると考えるがいかがか。</p> <p> a 地域高規格道路「境港出雲道路」</p> <p> b 新幹線構想・舞鶴から出雲市へ</p> <p>エ インドとの経済交流、フランスでの食品見本市が計画されているが、人口が爆発的に増加すると見込まれ、今後も経済は著しく発展すると予想される東南アジアに、なぜ目を向けないのか。</p> <p>オ 山陰いいものマルシェ出雲開催の計画。</p>			
(2) 幹線市道整備10ヵ年計画の現状と今後の計画		都市建設 部長	
<p>① 第一次幹線市道整備10ヵ年計画は、平成20年1月に平成20年度から平成29年度までの10ヵ年間として策定され、その後斐川町が合併し、整備路線が追加された。</p> <p>ア 地域別の整備計画予定路線数を伺う。</p> <p>イ 地域別の整備済み、整備中の路線数</p> <p>ウ 地域別の未整備路線数と今後の計画</p> <p>② 第二次計画についてはどのような方法で策定するのか。</p> <p>ア 今後の計画・スケジュール。</p> <p>イ 市の財政計画によると、普通建設事業費平成27年度決算見込額約90億円に対して、平成34年度からは約50億円となっている。市民の要望にどう応えていくのか。</p>			

質問者	5 寺本 淳一	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 地域包括ケアシステムの構築について		記事
<p>① 平成18年の制度改正で、2025年に多くの団塊の世代が後期高齢者になるという将来を踏まえ、医療・介護等ニーズ増加への対応として改革が進められてきました。さらに平成27年度の制度改正の特徴は地域包括ケアシステムを地域支援事業に移行させ、さらに実体化させる大きな改正となっています。そこで平成27年度制度改正以降、強化に向けた出雲市の新たな取組と構築に向けての考えを伺います。</p> <p>ア 高齢者あんしん支援センターの機能強化。</p> <p>イ 地域ケア会議の強化と構成メンバー、開催回数、会議内容。</p> <p>ウ 医療と介護の連携強化。</p> <p>エ サービス付き高齢者向け住宅への入居者の要介護度割合。</p> <p>オ サービス付き高齢者向け住宅に入りたい低所得者への支援。</p> <p>カ 在宅生活を維持するための地域生活支援サービスと高齢者の社会参加への支援に必要な地域への拠点づくり。</p> <p>キ 地域包括ケアシステムの構築実現に向けての展開方法とそのタイムスケジュール。</p>		市長
(2) 老朽化した空き家への対策について		
<p>① 利活用や再生が不可能と思われる空き家が増えてきている中、現在の状況と今後の対策を伺います。</p> <p>ア 利活用や再生できない空き家の件数とその中で何らかの対応がされた件数。</p> <p>イ 利活用や再生できる空き家の件数とその中で利活用や再生された空き家の件数。</p> <p>ウ 老朽化した空き家対応が進まない理由。(法的な部分も含め課題があるか)</p> <p>エ 市としての今後の対策や方向性。</p>		市長

質問者	17 松村豪人		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 市道の落石対策による事故防止について		都市建設 部長	
① 先般、邑智郡の県道において落石事故が発生したところであるが、市道の落石対策や危険箇所の点検はどのように実施していく方針か。			
(2) 森林の荒廃が漁業に及ぼす影響について、現状認識を問う		市長	
① 複数の漁業関係者から、漁村部における森林の荒廃が、魚類や藻貝類の減少等の影響をもたらしているとの話を聞く。市の認識を問う			
(3) 森林再生と資源の有効活用のため、バイオマス事業を進めるべき		経済環境 部長	
① 3月定例市議会において、木質バイオマス発電事業の可能性に関し一般質問を行った。執行部からは、「民間事業者が市内において検討する場合には、必要な情報提供など支援していきたい」との答弁であった。森林再生と資源の有効活用の観点から、地域関係者からは事業実施について前向きな意見も聞かれるが、民間や地元のみでは情報収集にも限界があり、事業可能性の検討段階ではある程度行政の支援が必要ではないか。 ア 事業可能性調査への支援について市としてどう考えているか			

質問者	9 大場利信	答弁を 求める者	記 事
(1) ふるさと納税（「日本の心のふるさと出雲応援寄附」）について		市長	
<p>① 寄附の実態について伺う。</p> <p>ア H26年度とH27年度の寄附の件数および額</p> <p>イ 出雲市出身者と出雲市以外の出身者の数</p> <p>ウ 寄附者の住所地（例えば「東海地方」など）の数</p> <p>エ 特に多い用途の指定</p> <p>オ 出雲市へ寄附をしようとする動機（寄附者にとって何が出雲市を引き付けるか）</p> <p>② 寄附に対する特産品等のお礼（返礼品）について伺う。</p> <p>ア 寄附金額のランクで多いものは</p> <p>イ 人気のある特産品等は何か</p> <p>ウ 寄附金額に対する特産品等の額の概ねの割合は</p> <p>エ 出雲ブランド商品で人気のあるものは何か</p> <p>オ 総合医療センターでの人間ドックや出雲の観光を組み合わせ合わせた旅行プランはユニークなものであるが、人気はどうか。</p> <p>③ 4月1日付けで総務省が示した自粛通知に対する見解、特に電子機器に対する見解と今後の対応について伺う。</p> <p>④ ふるさと納税を通じて、本市の今後の観光やシティセールスに生かすヒントがあるように思えるが見解を伺う。</p>			
(2) 地域包括ケアシステムの実現に向けて		市長	
<p>① 高齢化社会の中、地域の中で高齢者への「介護」「医療」「予防」「生活支援」「住まい」を有機的に連携させることで高齢者を支える「地域包括ケアシステム」が全国的に取り組まれているが、本市の取り組みについて以下伺う。</p> <p>ア 新設された医療介護連携課の組織（係）、担当する事務、人員を伺う。</p> <p>イ 導入時期はいつか伺う。</p> <p>ウ 在宅医療と介護連携の課題を抽出するため昨年11月から今年1月にかけて実施された市民アンケートの回答内容の概要を伺う。</p> <p>エ 要支援1および2などの高齢者を対象とした「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」についてその内容と今後の計画を伺う。</p>			

- | | |
|--|--|
| <p>オ 地域包括ケアシステムの実現の中心となる機関として、コミセン単位の地区社協、中学校区単位の介護サービス事業所、旧2市5町単位の高齢者あんしん支援センター、それに市本庁に重ね合わせた「重層的ケア」を目指すとされているが、具体的な意味について伺う。</p> <p>カ 地域包括ケアシステムは、在宅の高齢者を支援するため、医療、保健、看護、福祉、介護の専門職種や民生委員、ボランティアなどの地域住民が積極的に関わり協力し合う地域の活性化戦略ひいては「まちづくり」へ発展する可能性を秘めたものであり、そのことを念頭に運用されるべきと考えるが所見を伺う。</p> | |
|--|--|

質問者	20 板倉一郎	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者 記事
(1) 女性が活躍する社会の実現について		
<p>① 市長の女性が活躍する社会についての考え方を伺う。</p> <p>② 女性が活躍する社会の実現について取り組んできたことについて伺う。また、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>③ 市役所における、現在の女性採用の割合、管理職の割合、各役職段階の職員の女性の割合を伺う。あわせて、これらに関する目標について伺う。</p> <p>④ 昨年施行された女性活躍推進法では、地方公共団体には、女性の職業生活における活躍についての推進計画の策定、また事業主の行動計画の策定などが求められている。その状況について伺う。</p>		市長
(2) 保育所の待機児童について		
<p>① 今年度の保育所の入所状況等について、次の点を伺う。</p> <p>ア 2月の説明では、大幅な定員を上回る見通しが示されたが、5月では、平成28年度の待機児童は、7名との報告であった。どのような対応をされたのか伺う。</p> <p>イ 待機児童の定義は、どのようなものか伺う。</p> <p>ウ 就労意欲がありながら、保育園に入所が出来ず就労をあきらめたとの話しを聞く。特に、0～2歳児の状況について、どのようになっているのか伺う。</p> <p>エ 女性が活躍する社会を実現するには、保育環境の充実が不可欠である。今後、保育園を増やしていく考えはないか伺う。</p>		市長

